

令和4年度 学校目標評価 最終報告

長野県松本深志高等学校

領域	対象	具体的な目標	目標達成のための行動計画・方策など	評価	計画の実施・評価の 担当者・評価の方法他	目標達成のための取り組みの状況および評価の理由
教育活動	全般	生徒の自主性を育てる	生徒自らの手で主体的・自主的な学校生活を送るための支援	4.1	教務部・生徒部(生徒会) 進路指導部・学年・教科	・行事や探究課題の取り組みなどで、生徒の自主性を感じられない部分あったが、行事の計画立案、実施について自主性を重んずる助言を行うことができた。(各学年)
			「自治の校風」の理想の具現化に向けた活動の保障と指導助言			・グループワークを取り入れた授業の実践を行った。視聴覚教材の使用・各種ワークを取り入れたり、知的欲求も満たすよう教材を工夫した。(教科)
	学習指導	広い分野で確かな学力を養う	基礎学力の育成	4.1	教務部/進路指導部 学年/教科/研究部 探究キャリア教育部	・小テストやドリルを繰り返し実施するとともに個別指導の充実を図った。また、復習のサイクルを促し、基礎事項の定着を図ったり、補習により学習意欲の向上を図った。(教科)
			自学自習ができる向上心・探究心の涵養 探究的な学びの推進			・学習内容を身近な生活と結び付けて考えられるよう企画し、多くの生徒がコンテストに応募した。(家庭科)
進路指導	進路希望の実現を図る	新教育課程の研究	3.9		・教員対象の教育研究セミナーへ参加し、指導力の向上を図った。(教科)	
		生徒の資質・能力を高める指導方法の研究			・「生徒の取り組みを止めず、深い学びにつなげる」実践が、十分に考える時間が取れず不本意であった。また、中学校によりコンピュータの技術の差があったので、授業展開を工夫したい。(情報科)	
進路指導	進路指導	計画的なキャリア教育を行う	外部講師による進路講演会、大学説明会、卒業生との懇談、進路通信、学年集会、個別面談、 適性検査等を通じた進路意識の啓発 企業や大学と連携したキャリア教育の充実。教員を対象とした進路指導研修会の実施	4.1	進路指導部 探究キャリア教育部 学年/教科/進路希望調査 学習実態調査/進路結果	・感染症対策を行い予定した進路行事などをすべて実施し、進路意識の啓発をすることができた。(学年、進路)
生徒の自治	生徒の自治	自治活動を保障し自治的精神を育成する	学級活動・部活動・生徒会活動における生徒の自主性や、リーダー育成のための機会の保障と指導助言 文化祭・講演会など生徒会行事に対する支援と指導助言	4.0	生徒部(生徒会) 学年 生活意識実態調査 他	・コロナ禍でも生徒たちは幹事会や生徒会などによって前向きに取り組み、職員も活動の機会を与えるよう配慮できた。(各学年)
						・対策が十分とれない場合でもリモートによる講演を実施することで切れ目のない進路指導を行うことができた。
						・生徒は主体的に考え活動できたと思う。半面、会計など職員が手を入れないとなかなか動いていかない部分もあり、住み分けが必要と思われる。(生徒会)

生活指導	規律ある生活のリズムをつくる	学習を中心とした生活リズムの確立(部活動・生徒会活動の時間の適正化) あいさつの定着 清掃・保健・交通安全指導	3.6	生徒部・保健部 進路指導部 学年・教科	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムの重要性を生徒・保護者に伝え、遅刻・欠席の場合の声かけを行うことで多くの生徒はリズムを保って生活できた。また、職員があいさつを積極的に行うことにより、生徒があいさつを心掛けるようになってきた。 学習生活実態調査を実施し、現状を分析することができた。(進路) 交通安全指導に力を入れるとともに、自転車のヘルメット着用努力義務化に向けて、方向性を検討することができた。また、清掃の徹底を図っている。
	適切な個人指導及びカウンセリング体制を充実させる	教科担任・HR担任・クラブ顧問の連携 スクールカウンセラーとの連携。きめ細やかな生徒相談の実施。 保護者との懇談の実施	3.9	保健部 教育サポート委員会 学年・教科他	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援に係る教育相談専任の活用・連携など、適切な個人指導及び生徒に寄り添う体制を整えられるよう努めた。教科間の連携をさらに深めることが課題である。 必要に応じて面談、家庭訪問を実施し、SCおよび保護者との連携を図ることができた。(各学年) コロナ禍における学習面での遅れや悩みに気を配り、学習の遅れが最小限で済むように授業配信を行った。 担任と教科間での連携を密にすることによって、情報の共有を図った。
学校運営	安心安全な学校 快適な学校環境の整備を図る	危機管理体制の整備 いじめ・体罰のない学校環境の確保 健全な職場づくりの推進 環境対策(ゴミの削減、電気・水道使用量の削減)	3.8	学校衛生委員会 健全な職場づくり推進委員会/生徒部(生活)/事務 生徒厚生委員会 他	<ul style="list-style-type: none"> 校内の危険個所の点検見回りを複数回実施した。(学校安全衛生委員会) コロナ感染症対策については、県等からの通知を受けて必要な対策をとるとともに、生徒・保護者に対する注意喚起を行うことができた。 生徒学校生活アンケートの結果を踏まえて担任と連携し対応することができた。 学校安全衛生委員会を通じて、年休、振休取得、時差出勤の実施等を行っている。
	開かれた学校 保護者との連携を図る	PTA総会の開催、学年・学級PTAの開催 地区PTAの開催。保護者面談の実施、適切な家庭訪問の実施 緊急時一斉メール配信システムの活用	3.9	渉外部 教務部 学年	<ul style="list-style-type: none"> 3年ぶりに学年・学級PTA・地区PTA(2地区)を開催することができた。 新型コロナウイルス感染症や台風、大雪等への対応、日課・行事予定等の変更などを、一斉配信メールシステムを活用して、生徒・保護者に連絡した。 Classroomを活用することができた。
	開かれた学校 開かれた学校をめざす	「評価および公開方法」の改善と充実 保護者・地域・中学校への情報発信 公開授業・中学生体験入学等の実施 学校評議員会の開催、ホーム・ページの充実	4.2	教務部 学校評価委員会 保護者アンケート 他	<ul style="list-style-type: none"> 中学校訪問を実施し、本校の情報を中学生に発信する機会を作るとともに、中学校側の要望も活かせるよう工夫した。 学校ホームページでは、生徒会生徒が企画して、中学生を対象とした情報発信に努めている。 公開授業や中学生体験入学を通じて本校の生徒の雰囲気や部活動の様子も可能な限り伝えることができた。 校長通信では、授業や生徒の活動を画像・動画等を交えて掲載している。また、教頭通信では、日ごろの学校生活の様子を保護者に発信している。
情報校 ICTを 活用した 学校環境の 整備を図る。	ICT(情報通信技術)を活用した学習の研究、充実 一人一台端末を活用した学習活動の研究・推進。	3.9	教務部 施設管理部、研究部	<ul style="list-style-type: none"> コロナに係るオンラインを活用した授業の基本方針を定めた。 コロナ終息後におけるオンラインを活用した授業のあり方について継続して検討したい。 	